

ローチ、乾燥調整作業の指導、情報提供及び各生産者の出荷進捗管理などです。販売につきましては、全農委託米30%直接販売米70%の比率を基準に「生産者手取りの最大化」を目指した販売をしております。

Q 藤里地区でのフレコン出荷はできないのでしょうか。

A 今年度買入終了後、地域生産者の要望など聞きながら、29年産集荷に向けた協議・検討を行ってまいります。

Q 全農の28年産米概算金が決定しましたが、当JAの概算金は全農の概算金に上乗せできるのでしょうか。

A 昨年度より全農の概算金については、JA渡概算金（JA経費込）となっております。今年度の全農概算金につきましては、11,300円/1俵であり、あきた白神の生産者概算金は11,600円/1俵となりました。

協議事項③

平成29年度用 営農資材予約注文書について

Q 自民党の農林水産業骨太方針策定プロジェクト

チーム（小泉進次郎PT委員長）が農業生産コストの削減に向けた生産資材価格の見直しなど議論を再開しましたが、今回の予約注文書価格は、反映したものになっているのでしょうか。

A 予約注文書を作成する段階で生産コスト削減を目指した生産資材予定価格を設定いたしました。生産資材価格の見直しにより価格が変動した場合は、全農と協議しながら価格の見直しを行ってまいります。

その他について

Q 「特定施設入居者生活介護サービス付高齢者向け住宅」の建設事業費及び利用する

場合の利用料金はどのくらいでしょうか。また、現在JAが取り組んでいる介護施設は、県内では他のJAも行っているのでしょうか。

A 事業費合計として、433百万円（通常総代会承認額、平成28年6月29日開催）です。現在は、建設工事委員会で平成29年5月開所に向けて建物の建築、外構工事など入札等行い多岐にわたって順次決定する予定です。また、利用料金は、当JAが行う施設と同等クラスで県内の他施設も視野に入れ検討しております。決定いたしましたら、お知らせいたします。宿泊型介護施設としては、県内の他JAでもシヨートステイ、小規模多機能型などの施設を運営しております。

Q 山本地区JA合併について、経営・財務基盤も大事ですが、地域農業や地域社会の未来に夢を託せるJA組合員のための合併であるべきだと思います。

先進地視察を行う等しっかりと調査・研究を行ってほしいです。

A 現在は合併した場合の組合員メリット、また、地域農業や地域社会の未来に夢を託せるJAを目指し5つの検討部会に分かれて調査・研究を継続しております。今後はさらに深度ある調査・研究を重ね合併研究会で慎重に協議し、理事会で審議しながら、集落座談会等で組合員の皆様へおつなぎし、ご意見を頂戴する予定です。

Q 平成30年度に、生産調整はどのようになりますか。

A 平成30年度からは、米の直接交付金（7,500円/10a）が廃止、国、県からの生産数量目標の配分が廃止されますが、生産の目安が示されることとなります。米価を維持するため生産調整は行う必要があります。